

城北中学校区

城北中学校区5校がベクトルをそろえて取り組んでいます。

小中一貫教育だより

JHK



2023年（令和5年）第4号
担当 城北中学校・樹徳小学校

城北中学校区とは、城北中・西小・樹徳小・久松台小・明王台小のことです！

第5回グループ研修

11月27日（月）、城北中学校で第5回グループ研修会を実施しました。児童生徒の姿から自律に向かっているかを分析し、グループで交流し合うことを通して、自分の実践を振り返ったり、これからの取り組みを考えたりしました。



学年、担当教科等が様々なグループでの交流でした。それぞれの視点からの児童、生徒の姿について交流しました。



総合的な学習の時間交流会

12月6日（水）、城北中学校で総合的な学習の時間合同交流会が行われました。各小学校の4年生と中学校1年生が総合的な学習の時間で学習したことを発表し合い、意見交流をしました。



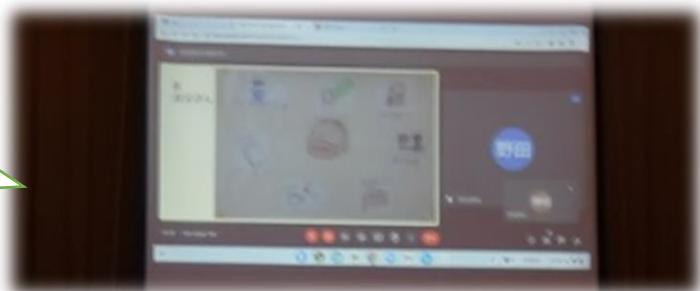
【西小学校】

平和への思いを一人一人のセリフや「Orizuru」の歌にのせて届けました。



【明王台小学校】

災害時に必要となる非常用持ち出し袋の中身等、実際に今必要となるものを自分事として考え、発表しました。



【樹徳小学校】

「未来ヘピース」をテーマに平和な世界にするために自分たちが調べてきたこと、自分たちがこれからできることについて発表しました。



【久松台小学校】

SDGsを知り、自分たちが解決したいテーマについて取り組んだ内容を発表しました。



【城北中学校】

福山市に住んでいる外国人、2025年の世界バラ会議に訪れる外国人に福山市をもっと好きになってもらう企画を発表しました。



グループ交流では、各校が1つのグループになって交流しました。それぞれの発表に対する感想や質問など、短い時間でしたが、関わり合う貴重な機会となりました。



第6回合同研修会

12月12日(火), 城北中学校と樹徳小学校で第6回城北中学校区合同研修会が行われました。「小中一貫教育による自律を促す学びの創造」という研究主題のもと, 4年生, 5年生, 中学校1年生の国語科・社会科の研究授業を行いました。

〈樹徳小学校〉



4-1 中川 直子 教諭
「プラタナスの木」
中心人物の変化を叙述を基に考え伝える。



5-1 藤通 彩香 教諭
「やなせたかし〜アンパンマンの勇気〜」
文章に基づいて, 自分の考えをもつ。



- 🌸 学習計画
 - ・児童が自分達で学習計画を立てている。
 - ・児童の思いから言語活動を設定してある。
- 🌸 学習の足跡
 - ・授業の積み重ねが本時につながっている。
 - ・これまでの学習を振り返ることができる環境がある。
- 🌸 話し合いの土台
 - ・話しやすいクラスの雰囲気があった。
 - ・発表している児童の話をお互いに遮らずに聞くことができていた。

これからに向けて

- ・話し合いで全体が参加できるように
 - 児童同士のつながりを増やす。
 - 対先生への発言を減らす。
 - グループ学習を取り入れる。
 - 一人で考える活動を取り入れる。
- ・まとめについて
 - 絶対にいるものなのか問い直す。
 - 一人で書いてみる時間をとる。



- 🌸 叙述をもとに考える姿
 - ・考えの根拠を本文から探す姿があった。
- 🌸 全体で考えを共有できる土台がある
 - ・「聞くこと」がしっかりできている。発言しやすい土台がある。
 - ・お互いの考えを繋げることができている。
- 🌸 話し合いの時間が十分とれた。
 - ・事前に自分の考えを書かせることで話し合いに時間を使えた。
 - ・一人一人が自分の考えをもった上で話し合いができていた。

これからに向けて

- ・学習形態の工夫
 - 学習リーダーの役割を振り返る。
 - 自分達で自由に学習形態を選べるように
- ・考えを深める話し合い
 - 様々な考えを整理し, 比較, 分類する。
- ・まとめ, 振り返りについて
 - 最初と最後で自分の考えが変化していたかを検証する。

〈城北中学校〉



1-2 黒谷 幸希 教諭

「今に生きる言葉」

故事成語を普段の生活や自身の体験と結び付けて、わかりやすく説明することができる。



1-4 増田 周太 教諭

「北アメリカ州」

北アメリカ州の農業、工業、生活・文化の長所と課題を把握し、他者との協議の中で自分なりの意見を筋道立てて説明することができる。



🌸 教材研究

かるたにしたことで、興味関心をひきつけ、言葉の意味をより意識できた。

🌸 協働学習

- 同じ語をひいた人同士で、さまざまな話し合いをしながら、より同じ内容で深まった。
- 自然発生的に、学び合いが生まれていた。

🌸 まとめ・振り返り

- 日常的に文章を書く力(長文・条件付きの文)を鍛える取組が生きていた。

📦 これからに向けて

- 意味の深まり
→個別でのズレを全体で共有し、意味の深まりをさらに向上させる。
- 目的を明確にする
→最後にもう一度、目的に戻って話し合いができればよかった。



🌸 教材研究

- 資料がたくさん準備されていた。
- 多面的に捉えることが可能になる単元構成になっていた。

🌸 協働学習

- 個人⇒班⇒全体により、新たな気づきがあった。
- 学習した知識を用いて、友達に説明することができていた。

🌸 まとめ・振り返り

- 単元を貫く問いがあり、一貫性があった。

📦 これからに向けて

- 資料を活用するスキル
→様々な資料を使って、根拠を基に説明するために、比較・分類方法を身に付ける。
- 言葉の定義を確認する時間
→リードしているとは、どの領域でなのかを明確にして、視点を絞って協議する。



発行：城北中学校区小中一貫教育事務局

※「小中一貫教育だより」を定期的に発信していきます。